

平成 29 年 7 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 ミウラ

代表者名 代表取締役社長 竹本 豊治

会 社 名 株式会社イノベーション・ファーム

代表者名 代表取締役社長 山田 德行

問合せ先 エボリューション販売事業本部 石森 武真

TEL (03)5823-4398

セキュリティー製品「Dr. Puzzle Lap (ドクターパズラップ)」の 販売に関するお知らせ

株式会社ミウラ（以下「当社」といいます。）は、本日付で公表した「IT開発のミウラ、セキュリティー製品を拡販 韓国などに販路」によりご案内しましたとおり、関連会社のイノベーション・ファーム（東京・千代田）が開発したデータを分割して管理するセキュリティー対策製品の販売を拡大いたします。新たに専門部署を設立したほか、韓国企業と契約し海外での販路開拓も進め5年後をメドに同製品の売上高50億円を目指すことお知らせいたします。

記

名称は「Dr. Puzzle Lap (ドクターパズラップ)」で、秘密分散技術を活用したセキュリティー製品。重要なデータをサイバー攻撃から守るためには、パスワードをかけて暗号化しデータを解読できなくするのが一般的な手法ですが、元のデータをそのまま保管しているため、パスワードが流出するとデータを閲覧されてしまう可能性があります。

秘密分散技術では、データを分割し3つの断片ファイルに変換、それぞれ別のクラウド上や自社サーバーで保管し単体の断片ファイルは無意味化されていることから、盗まれても情報が流出することはない最も安全性な技術と言えます。断片ファイルは凍結状態になるため、復旧のために金銭を要求するランサム（身代金）ウェアに感染していても保管先で他データへ感染することも防げ、世代バックアップから感染前のデータを復元することもできます。

断片ファイルが2つあればデータを復元でき、データセンター（DC）など保管先の1カ所が地震などで機能停止してもすぐに復旧でき、BCP対策にも対応します。

秘密分散技術を使ったセキュリティー製品はこれまでもありましたが、ハードやソフトなどシステム全般を変える必要があり、導入費用が高額で普及が進みませんでした。ドクターパズラップ単体での導入費用は従来の半分以下で可能となります。扱うデータや企業のシステムの状況で専用機器などの導入費用がかかりますが、クラウドを使うため従来と比べ安価で利用できます。

同製品の拡販に向け、今月、韓国のセキュリティー企業との間で製品のカスタマイズや販売権を委託する契約を締結しました。韓国では個人情報など情報セキュリティーに対する法制度から意識が高く、市場開拓余地があると判断しました。

国内では販路開拓にむけ、6月末にイノベーション・ファーム本社内に新たに販売事業本部を開設。役員1人を派遣しセキュリティー対策が進んでいない中小企業や機密情報を多く取り扱う医療機関などの需要開拓を目指しております。

8月中旬には同社のサイト上で同製品の使い心地を体験できるサイトも開始します。

<https://pzlpr.innov-firm.jp/login>

以上